

令和6年度

横浜創英大学

〔看護学部 看護学科〕

学校推薦型入学試験（第Ⅱ期）

基礎総合

令和5年12月16日（土）

（注意事項）

1. 「始め」の指示があるまで問題冊子を開いてはいけません。
2. 指示があったら問題冊子と解答用紙に受験番号、氏名を記入してください。
3. 問題は1ページから6ページまであります。
落丁、乱丁、印刷の不鮮明な箇所があった場合は、静かに手をあげて試験監督者に連絡してください。
4. 解答は、解答用紙に記入してください。
5. 解答にはHB又はBの黒色エンピツ、シャープペンシルを使用してください。
6. 試験開始後は退室できません。
7. 問題冊子と解答用紙は回収します。

受 験 番 号

6	0					
---	---	--	--	--	--	--

氏 名

--

問題Ⅰ

設問 次の各問いに答えなさい。

(1) 次の文章の主旨として最も適するものを、下の①～⑤の中から一つ選び番号で答えなさい。

(小田正枝・園山繁樹編「総合人間学概論 人間このすばらしきもの」から。)

(一部表記を改めたところがある。)

- ① 人の生きがいは多様で、人の生きがいを考えると自分の価値観を押し付けるのではなく、その人の価値観や生きがいを考えることで、よりその人を理解できるようになる。
- ② 「あなたの生きがいは何ですか」と問われ、とっさに答えがでてこないのは、生きがいについて受け止めている意味や感じ方がひとりひとり違うからである。
- ③ 筆者が生きがいを感じるのは、現在の生活に満足しているからであって、他の人が同じ状態であれば生きがいを同じように感じるようになる。
- ④ 生きがいについて受け止めている意味や感じ方などがひとりひとり違うと思われるので、自分の価値観をもとに、その人の価値基準を考えることが大切である。
- ⑤ ほとんどの人が生きがいについて考えたことがないので、仕事上の目標を掲げることやその人の価値基準を考えることが大切である。

(2) 次の①～④の各文中の下線をつけた漢字の読み方を、ひらがなを使って現代仮名遣いで書きなさい。

- ① 脊椎動物は、哺乳類、鳥類、両生類、魚類などに分けられる。
- ② 原材料の値上がりは、商品の価格に転嫁せざるを得ない。
- ③ 江戸時代から続く老舗和菓子店でおみやげを買った。
- ④ 新たな感染症に備えて国境を越えてワクチンを融通しあう体制が必要だ。

(3) 次の①～④の各文中の下線をつけたカタカナを、漢字で書きなさい。

- ① 高名な作家のズイヒツを読んで人生観が変わった。
- ② 会社の古い体質を改革するため、職員の新陳タイシャを図る必要がある。
- ③ 祖父はカンワケアにより痛みが軽減され精神面が安定した。
- ④ 商店街がクリスマスのソウショクで華やかになった。

(4) 次のア～オの慣用句やことわざを使った文中の□に当てはまる動物が、十二支にあてられたものの組合せとして正しいものを、下の①～⑤の中から選び番号で答えなさい。

- ア お客様の行列が絶えないときは、□の手も借りたい。
- イ 天高く□肥ゆる秋、スポーツや行楽に最適な季節を迎えた。
- ウ 迷路に挑戦したが出口が見つからず、袋の□になってしまった。
- エ 見覚えのない人から名前を呼ばれ、□につままれるような感じだ。
- オ 余計な一言で、藪をつついて□を出すようなことになった。

- ① ア - イ - ウ
- ② ア - イ - エ
- ③ ア - エ - オ
- ④ イ - ウ - オ
- ⑤ ウ - エ - オ

(5) 次のア～オの各文を意味の通じるように並べ替えたものとして最も適するものを、下の①～⑤の中から選び番号で答えなさい。

- ア
- イ
- ウ
- エ
- オ

(加藤尚武「現代人の倫理学」から。)

- ① ア → オ → ウ → エ → イ
- ② イ → ウ → エ → オ → ア
- ③ ウ → エ → オ → ア → イ
- ④ エ → イ → オ → ウ → ア
- ⑤ オ → ア → エ → イ → ウ

問題Ⅱ

設問 次の各問いに答えなさい。

- (1) 一定の規則で並んでいる次の二進法であらわされる数列の $\boxed{A}$ と $\boxed{B}$ の和を、下の①～⑤の中から選び番号で答えなさい。

数列 1, 11, 101, 111, 1001, $\boxed{A}$, 1101, 1111, 10001, $\boxed{B}$, 10101, 10111, …

- ① 11000
- ② 11001
- ③ 11011
- ④ 11110
- ⑤ 11111

- (2) 直径 2 m の球形のタンクに毎分 0.01 m³ の水を注入して満水にしたい。正午に注入を開始したとき満水となる時間に最も近いものを、次の①～⑤の中から選び番号で答えなさい。

- ① 午後 3 時 14 分
- ② 午後 4 時 44 分
- ③ 午後 5 時 14 分
- ④ 午後 6 時 44 分
- ⑤ 午後 7 時 14 分

- (3) 赤い球 7 個、青い球 4 個、白い球 4 個が入った袋の中から 2 個の球を任意に取り出したとき、2 個の球の色が異なる確率を、次の①～⑤の中から選び番号で答えなさい。

- ① $\frac{7}{15}$
- ② $\frac{7}{30}$
- ③ $\frac{12}{35}$
- ④ $\frac{23}{70}$
- ⑤ $\frac{31}{105}$

(4) 濃度 6 % の食塩水 A 300g と濃度 3 % 食塩水 B 600g を混ぜ合わせた食塩水の濃度を、次の①～⑤の中から選び番号で答えなさい。

- ① 3.5%
- ② 4.0%
- ③ 4.5%
- ④ 5.0%
- ⑤ 5.5%

(5) ある大学の看護学部 3 年の学生の希望進路先を尋ねたところ、大学病院を希望している学生が 31 人、大学病院又は国公立病院を希望している学生が 54 人、国公立病院と民間病院の両方を希望している学生が 34 人、国公立病院のみを希望している学生が 20 人であった。この結果から大学病院のみを希望している学生の人数を、次の①～⑤の中から選び番号で答えなさい。

- ① 0 人
- ② 1 人
- ③ 2 人
- ④ 3 人
- ⑤ 4 人

問題Ⅲ

設問 次の問題文及び図表1～図表3は、横浜市の「よこはま保健医療プラン2018」から作成したものである。問題文及び図表1～図表3を見て、あとの各問いに答えなさい。

【問題文】

横浜市における人口10万対1日平均在院患者数をみると、全国と比べて6割程度、神奈川県全体と比べても（ア）となっており、人口に対する入院患者の割合は低い状況が続いています。また、人口10万対1日平均外来患者数は、神奈川県全体と比べると同水準となっておりますが、全国比では（イ）となっており、入院と同様に人口に対する外来患者の割合は小さい状況が続いています。

横浜市における人口10万対病床数は各病床とも、全国及び神奈川県全体の平均をともに下回る状況が続いており、特に療養病床について顕著です。また、（ウ）については、年々差が広がる状況にあります。横浜市における病床利用率をみると、（ウ）や（エ）を中心として全体的に上昇傾向にあります。また、（エ）以外の病床については、全国や神奈川県全体と比べて高い状況が続いています。

【図表1】 人口10万対1日平均在院患者数及び1日平均外来患者数

(単位：人)

区 分	1日平均在院患者数			1日平均外来患者数		
	横浜市	神奈川県	全 国	横浜市	神奈川県	全 国
平成23年	605.5	655.3	1,016.7	864.8	877.2	1,096.8
平成24年	605.9	654.5	1,009.4	862.9	880.9	1,096.2
平成25年	604.4	649.7	1,001.9	854.9	879.0	1,091.9
平成26年	604.0	646.4	992.4	847.5	865.4	1,079.7
平成27年	606.1	645.6	987.8	839.2	855.8	1,075.3
平成28年	609.8	646.1	985.4	834.4	844.2	1,068.1

【図表2】 人口10万対病床数

(単位：床)

区 分	総 数			一般病床			療養病床			精神病床		
	横浜市	神奈川県	全 国	横浜市	神奈川県	全 国	横浜市	神奈川県	全 国	横浜市	神奈川県	全 国
平成23年	748.1	815.1	1,238.7	500.3	513.3	703.7	96.9	145.6	258.3	148.1	153.6	269.2
平成24年	754.1	821.0	1,237.3	502.2	517.5	704.4	101.5	147.3	257.9	147.6	153.5	268.4
平成25年	749.0	815.8	1,236.3	499.6	513.2	704.9	99.2	147.3	257.8	147.4	152.7	266.9
平成26年	748.1	814.9	1,234.0	494.9	508.7	703.6	103.6	148.0	258.2	146.8	155.6	266.1
平成27年	743.5	810.5	1,232.1	491.3	507.1	703.4	105.3	147.1	258.4	144.3	153.6	264.6
平成28年	737.1	808.9	1,229.8	487.3	509.2	702.3	106.1	145.1	258.5	141.0	152.1	263.3

【図表3】病床利用率

(単位：%)

区 分		平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
総 数	横 浜 市	81.1	81.0	80.6	80.6	81.5	82.3
	神奈川県	80.6	80.1	79.5	79.1	79.6	79.8
	全 国	81.9	81.5	81.0	80.3	80.1	80.1
一般病床	横 浜 市	77.9	78.0	77.8	77.9	78.8	79.6
	神奈川県	75.6	75.4	74.7	74.5	75.0	75.2
	全 国	76.2	76.0	75.5	74.8	75.1	75.4
療養病床	横 浜 市	92.8	93.7	92.6	93.6	94.2	92.5
	神奈川県	91.0	90.8	90.0	90.4	90.2	89.1
	全 国	91.2	90.6	89.9	89.4	88.8	88.2
精神病床	横 浜 市	84.9	83.2	82.4	81.0	81.9	84.3
	神奈川県	88.1	86.5	86.0	84.3	84.8	86.0
	全 国	89.1	88.7	88.1	87.3	86.5	86.2
感染症病床	横 浜 市	24.8	22.0	33.9	42.7	39.4	38.1
	神奈川県	8.8	8.2	12.8	16.2	14.9	14.1
	全 国	2.5	2.4	3.0	3.2	3.1	3.2
結核病床	横 浜 市	62.9	61.5	59.5	58.9	55.5	58.5
	神奈川県	62.6	60.2	56.5	57.7	52.2	54.8
	全 国	36.6	34.7	34.3	34.7	35.4	34.5
介護療養病床	横 浜 市	95.4	96.5	94.4	95.2	96.1	95.6
	神奈川県	92.7	92.3	91.5	90.5	90.1	89.2
	全 国	94.6	93.9	93.1	92.9	92.1	91.4

(1) 問題文中の(ア)～(エ)にあてはまる語句として最も適したものを、次の語群A～Hから選び、記号で答えなさい。

- ＜語群＞
- | | |
|---------|----------|
| A. 6割程度 | E. 一般病床 |
| B. 7割程度 | F. 療養病床 |
| C. 8割程度 | G. 精神病床 |
| D. 9割程度 | H. 感染症病床 |

(2) 次の(ア)～(オ)の文について、問題文及び図表1～図表3から読み取れる内容と一致しているものを、すべて選び記号で答えなさい。なお、神奈川県の人口は910万人、横浜市の人口は370万人とします。

- (ア) 平成28年の横浜市の外来患者数は、延べで約1,130万人である。
 (イ) 平成28年の神奈川県の1日平均在院患者数は、約59万人である。
 (ウ) 感染症病床の病床利用率が他の病床と比較して低いのは、新型コロナウイルス感染症の患者を受け入れるためである。
 (エ) 一般病床数は、病床総数の50%以上を占めている。
 (オ) 介護療養病床は、他の病床よりも病床利用率が高い傾向にある。

(基礎総合 おわり)

令和6年度 横浜創英大学 学校推薦型入学試験(第Ⅱ期)

基礎総合解答例

問題Ⅰ	(1)	①											
	(2)	①	せきつい			②	てんか			③	しにせ		
		①	ゆうずう										
	(3)	①	随 筆			②	代 謝			③	緩 和		
		④	装 飾										
	(4)	④											
	(5)	①											
問題Ⅱ	(1)	④											
	(2)	③											
	(3)	③											
	(4)	②											
	(5)	①											
問題Ⅲ	(1)	(ア)	D		(イ)	C		(ウ)	E		(エ)	G	
	(2)	(ア)、(エ)、(オ)											